

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立富士松北小学校長

浅田 敏 宏

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月18日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。

また、お子さまの結果につきましても、個人票をお渡ししますのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、富士松北小学校の傾向を国・県・市の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。

なお、本調査結果は本校のホームページにも掲載します。

2 本校の概要

国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・十分満足できる状況である。 ・領域では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の正答率が高い。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・十分満足できる状況である。 ・ただ、記述式の設定に対して苦手意識をもった児童が少なからずいる。答えのみの回答だけでなく、自分の言葉で説明をする場面も設定しながら、授業を進めていきたい。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、毎日同じくらいの時刻に起き、朝食を食べ、規則正しい生活ができているなど、基本的な生活習慣が身に付いている。 ・学校のきまりを守ることでできる児童が多い。 ・学校に行くのは楽しいと思う児童が大部分だが、一部楽しくないと思う児童がいる。 ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある児童の割合がやや低い。 ・授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている児童が多い。 ・読書が好きな児童は多いが、学校図書室や地域の図書館を利用する児童は少ない。 ・自分には、よいところがあると思っている児童の割合がやや低い。 ・学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかった経験をもつ児童が多い。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童が多い。 ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童が多い。 ・算数の勉強が好きで大切だと思う児童は多く、もっと簡単に解く方法がないか考えたり、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている児童が多い。 ・算数の学習において、新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う児童の割合がやや低い。

*全国平均に比べ無回答率が低く、前向きに取り組もうとする児童の様子が見られる。

【本件に関するお問い合わせ：刈谷市立富士松北小学校 教務主任 中川 佳彦（TEL：0566-36-5414）】